

寺島実郎

- * 持続的経済拡大が内包した不安——グローバル化という名の金融肥大化と破綻
- * マネーゲーム化の進行とその要因としてのホット・マネーの奔流——①中東・ロシアのオイルマネー(07年1.8兆ドル)、②日本の超低金利と「円キャリー」資金(1.0兆ドル)
- * 「米住宅サブプライムローンの焦げ付き」を引き金とする世界金融危機——悪知恵の資本主義の行き着いた米国主導の金融システムの崩壊
- * 07年の世界 M&A 総額4.5兆\$、ヘッジファンド規模 1.5兆\$ (デリバティブ市場規模は516兆ドル:BIS、2007年想定元本ベース)

*洞爺湖サミット、北京五輪、グルジア紛争、福田辞任・麻生政権、オバマ当選、G20の意味

*「IT革命」×「グローバル化」＝冷戦後の世界潮流という認識の限界

*「第二次大戦後秩序」(ブレトンウッズ体制)と「冷戦後秩序」の二重構造でのパラダイム転換が進行

1. 米国の求心力の低下＝イラク戦争による疲弊とサブプライム問題で露呈した虚弱性——「米国の一極支配」、「唯一の超大国米国」という認識の破綻
* 「力の論理」の破綻と「新・自由主義」の敗北
2. 政治における「ガバナンスの劣化」＝世界的な政治指導者の交代と統治能力の混乱——「多極化」を通りこした「無極化」（全員参加型秩序）への移行
3. エネルギー・環境問題のパラダイム転換＝洞爺湖サミット、ポスト京都議定書への動き（「高価格原油」時代、「低炭素社会」への流れがもたらす構造転換）
4. 日本の進路——強靱な産業戦略に裏付けられたアジア・ユーラシア戦略の展開
* 「マネーゲーム経済」への省察と自律型経済構造志向
* 「親米入亜」の実体化（米国をアジアから孤立させず、中国を国際ルールへの参画者に招き入れることこそ国益）

有根化 $\rightarrow$ 無根化

④ $01\frac{1}{2}$ 万人 $\rightarrow$ 古隆人移住 $-1-$

17

60000 跟 事情

142047298312 分曉後 81
 142047298312 全盤資料